



Title	ヘジェン語のテキスト(24) : 尤文蘭氏による語り 木灰水で洗濯
Author(s)	李, 林静
Citation	北方言語研究, 15, 277-288
Issue Date	2025-03-20
DOI	https://doi.org/10.14943/112981
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/94626
Type	departmental bulletin paper
File Information	14_Li.pdf



[資料・研究ノート]

ヘジェン語のテキスト(24)¹
—尤文蘭氏による語り 木灰水で洗濯—

李 林 静
(成蹊大学)

キーワード：ヘジェン語、テキスト、草木灰、灰汁

1. はじめに

本稿では、筆者が 2022 年 9 月 2 日に中国黒龍江省トンジャン（同江）市において収録した尤文蘭氏（1946 年、チンデーリー（勤得利）生まれ）によるヘジェン語²キーレン方言の語りのテキストを掲げる（整理番号：20220902_YWL_katari_xiaohui_hoppo15_2024³）。

1.1 ヘジェン語について

ヘジェン語は、中国黒龍江省に住む少数民族ヘジェンによって話されている言語であり、ツングース諸語の 1 つである。語順は SOV で、いわゆる接尾型の膠着的言語である。ヘジェンの人口は 5373 人⁴、ヘジェン語の母語話者は 1 人⁵である。ヘジェンの人々は大きくキーレン（“奇楞”；自称 na nio, na bei）とヘジェン（“赫真”；自称 na nai）の 2 つのグループに分けられ、それぞれの話す方言はキーレン方言及びヘジェン方言だとされている。本稿で取り扱われるテキストの語り手である尤文蘭氏は、キーレン方言話者である。

¹ 本稿は 2020 年-2025 年日本学術振興会科研費補助金（基盤研究(C)）「消滅の危機に瀕するヘジェン語のドキュメンテーション及び文法記述研究」（研究代表者：李林静、課題番号：20K00580）の助成による成果の一部である。

² 中国語による正式な漢字表記は「赫哲」である。日本語のカナ表記は、「ヘジェン」の他に、「ホジェン」、「ヘジェ」が存在する。音声記号による表記は[xəɖʂən]であり、ローマ字による表記は Hezhen である。筆者は 2017 年まで「ホジェン」を使用してきたが、2018 年からローマ字表記に準じ、「ヘジェン」を使用している。

³ 20220902_YWL_katari_xiaohui_hoppo15_2024：この整理番号は筆者自身が作った資料の整理番号である。20220902 は収録が行われた日付（YYYYMMDD）、YWL は話者尤文蘭氏のイニシャル、katari は語りを表す。xiaohui は中国語“小灰”のピンインで、語りの内容を示す。hoppo15_2024 は『北方言語研究』15 号_2024 年度を意味する。なお、ビデオのファイル名は ZOOM0063.MOV である。

⁴ 2020 年第 7 回国勢調査による。

⁵ 2023 年現在。筆者の調査による。



図1 ヘジェンの居住地⁶

1.2 話者について

尤文蘭氏は1946年、チンデーリー（勤得利）生まれの女性で、キーレン方言の話者である。尤文蘭氏の詳しい生い立ちについては、李（2015）を参照されたい。筆者は2022年8月27日から9月19日まで、黒龍江省同江市にてヘジェン語のフィールドワークを実施した（李（2022）を参照）。李（2024）でも記したように、2023年6月に同市にてヘジェン語のフィールドワークを実施した期間は、尤氏の入院と重なり、言語調査の実施は不可能であった。2024年8月に、筆者が再度尤氏の元に訪れた際には、尤氏は脳卒中の後遺症で筆者との意思疎通が困難であった。尤氏へのヘジェン語の調査は、2022年が最後となってしまうのかもしれない。



写真1 尤文蘭氏（2022年9月4日 同江市にて 筆者撮影）

⁶ 地図の出典：李・山越・児倉（2018:7）。以下李他（2018）とする。

1.3 採録方法

筆者は尤氏に灰汁を使って洗濯する方法についてヘジェン語で話すように依頼した。語りを PCM レコーダーで録音し、デジタルビデオカメラで録画を行った。収録の場所は同江市にある筆者の宿泊先のホテルである。

1.4 テキスト化の方法

語りの収録は 2022 年 9 月 2 日の 16:25 から行われた。9 月 4 日の早朝に、筆者が一人で書き起こし作業を行った。同日の 14:00 から 17:00 にかけて、尤文蘭氏を筆者のホテルに呼び、録画を見せながら意味の確認作業を行った。

2. 語りの概要及び関連情報

本稿で取り扱う語りは 4 分間のものである。テキストに現れていないが、確認時に尤氏に教えてもらった情報などは、() で囲む。

これまでのヘジェン語のフィールドワークにおいて、昔は灰を使って洗濯したという話を尤文蘭氏から何度か聞いたことがある。2022 年 9 月 2 日には、昔灰を煎じた水で洗濯していたという話題に尤氏がもう一度触れた。尤氏はまず中国語で語ってくれたが、筆者が尤氏に同じ内容をヘジェン語でも語るよう依頼した。

【中国語で語った情報⁷⁾】

昔、石鹼を買うお金はなかった。石鹼の代わりに薪を燃やした灰を煮た汁を使っていた。夜、白樺などの木の薪を竈に入れて、オンドルを温める。灰になった薪を崩さずに一晩そーっと置いておく。翌日の朝、灰が冷めたら、竈から灰の塊を取り出し、大きな鍋に入れて、煮立たせる。それから、灰とお湯をバケツなどで掬い出し、静置する。灰が沈んだら、上層にある水を掬い上げ、それを重曹代わりに使って饅頭を蒸したり、シーツなどを洗濯したりする。尤氏は病院の血液や膿などが付着しているシーツの洗濯を依頼されたことがあり、灰の水でよくきれいに洗ったとのこと。

【本ヘジェン語のテキストにある情報】

昔(家に)石鹼はなかった。灰の水でシーツなどの洗濯をしていた。とても白く洗えていた。重曹の代わりに、(饅頭を蒸すときにも灰の水を使う)。たくさん入れると饅頭が黄色くなる。とてもアルカリ性が強い。薪を燃やせば灰ができる。鍋に水を入れて、灰を水に入れてかき混ぜる。灰の水を沸かしてから、そーっと置いておく。灰は下に沈んで、水は上に来る。ゆっくり水を掬い出して取っておく。澄んでいる上層のほうの水は饅頭を蒸したりするときに、淀んでいる下層のほうの水は服を洗濯したりするときに使う。灰は捨ててしまう。(アルカリ性が強いので、)饅頭が黄色くなるので、あまり多くの灰水は入れられない。灰水はつるつるしてとてもよい。

【筆者の調査による補足情報】

尤文蘭氏の語りに出た薪のイメージは写真 2 のようなものである。写真 3 は中国東北の農村部の台所で見られる竈である。薪や石炭などを燃やしご飯を作る他、寝室にあるオンド

⁷⁾ ビデオのファイル名は ZOOM0062.MOV である。

ル（写真5）に熱気を送り、冬に暖を取るメインの手段となる。夏はガスボンベを使ってご飯を作ることが多い。写真4は薪を燃やした後の灰（楕円で囲まれた部分）と灰を沸騰させる鍋（四角で囲まれた部分）である。写真4に映っている灰は細い薪の灰であるが、尤氏の語りにある灰は写真2にあるような太い薪によるものである。白樺の灰はアルカリ性が強く、柳などの灰はそれほどアルカリ性がないという尤氏からの補足情報も付け加えたい。写真5は中国東北地方の農村部で見られるオンドルで、楕円で囲まれた部分は台所にある竈につながっている。オンドルはレンガで作られ、中は空洞になっており、暖かい空気が廻る仕組みになっている。



写真2 東北農村部の民家の庭で見られる薪の備蓄（2007年9月バーチャー郷にて、筆者撮影）



写真3 竈で薪を燃やして、ご飯を作ったりオンドルを温めたりする（2008年9月バーチャー郷にて、筆者撮影）



写真4 竈に残る薪の灰（2008年9月バーチャー郷にて、筆者撮影）



写真5 オンドル（四角で囲まれた部分）（2008年9月バーチャー郷にて、筆者撮影）

草木灰は肥料になったり、洗濯に使用されたりと、古くから活用されてきた。『本草綱目』には次の記載がある。

“冬灰，乃冬月灶中所烧薪柴之灰也。专指作蒿藜之灰，亦未必然。原本一名藜灰，生方谷川泽，殊为不通。此灰既不当言川泽，又岂独方谷乃有耶。今人以灰淋汁，取碱浣衣，发面令晰，治疮蚀恶肉。”⁸（下線部の筆者訳：現在の人は薪の灰で汁を濾過し、そのアルカリ性を利用し、服を洗濯したり、小麦粉を発酵させたり、傷、腐肉などの治療に用いたりする。）

日本語の「灰汁」の項目を引くと、「植物を焼いた灰を水に浸して得る上澄み液。アルカリ性を示し、古来、洗剤・漂白剤として、また染色などに用いる。⁹」とある。

このように、薪の灰を洗濯に用いるのはヘジェンのみの伝統ではなく、古来洗剤などとして使われてきた。

3. 表記について

ヘジェン語のテキストは4行構成で示す。1行目は音韻表記による原文、2行目はグロス、3行目は日本語訳、4行目は中国語訳である。中国語による発話の部分は、斜体のピンイン（声調なし）で表記し、グロスは漢字で示す。以下にヘジェン語の音素目録を示す。本テキストにおける表記や分析は李（2014）と李他（2018）にもとづく。

母音：/a[a], i, u, e[ə], o[ɔ]/

子音：/p, b, t, d, c[tʃ], j[dʒ], k, g, x, m, n, ŋ, f, s, S[ʃ], r, l, y[j], w/

言い間違い、言いさし、言いよどみと思われる箇所は/ /でくくった。前後の文脈を理解する上で分析したほうがよいと判断された言いよどみなどについては分析を行い、明らかな言い間違いなどはFILとグロスをつける。途中まで言いかけたが最後まで言い切らなかった箇所は...で示す。発話時の長く引き伸ばされる語があった場合には、~で示す。省略が多く、語り手本人しか分からないことは日本語訳の行で補い、補足部分を（ ）で囲った。ヘジェン語の発話に混ざっている短い中国語に関してはグロスをつけるが、長文の中国語の場合はグロスをつけていない。Lは筆者のイニシャルである。筆者の発話は（ ）で囲った。略号一覧は巻末に掲載する。ヘジェン語の接辞一覧は李他（2018:10）を参照されたい。

4. テキスト

- (1) julipti tergele=de¹⁰ silki-uyi ya-le bisi-n mele,
 昔 服=CLT 洗う-IMPRS.NPST どこ-ALL ある.PTCP.NPST-3SG 石鹼
 mele-ni anci.
 石鹼-3SG ない
 昔服を洗う時、どこに石鹼があるもんか。石鹼はなかった。
 过去洗衣服，哪有肥皂啊，没有肥皂。

⁸ https://baike.baidu.com/item/%E8%8D%89%E6%9C%A8%E7%81%B0/934085?fr=ge_al（最終閲覧日：2025年1月30日）

⁹ <https://www.weblio.jp/content/%E7%81%B0%E6%B1%81>（最終閲覧日：2025年1月30日）

¹⁰ 接辞の=deには二種類あり、「～も」と明確に意味が判断できるものと、明確に意味が判断できないものである。この用例は後者であり、明確な意味を持たないものと思われる。=deの意味に関しては、前後の文脈で判断するしかない。

- (2) ti xurptu¹¹, ti ne-m odi-re~, muke-ji ne-yi-ni.
 その 灰 その する-SIM 終わる-ANT 水-INS する-PTCP.NPST-3SG
 灰をやってから、水でやる。
 小灰整完了以后、就用水整。
- (3) muke-ji ockoli muke-ji ne-m odi-re, ti xulsa
 水-INS 熱い 水-INS する-SIM 終わる-ANT その 布団
 ei buli-ni, ti waile ti boso-we-ni,
 この 布団の中綿のカバー-3SG その もの その 布-ACC-3SG
 Saku tui silki-uyi e.
 皆 そのように 洗う-IMPRS.NPST PTCL
 お湯でやってから、布団を洗って布団の芯のカバー、その布を洗う、全部そうやって洗
 う。
 用热水整完了，就洗被，被里，洗那个布，都那么洗。
- (4) silki-m odi-re, siangin, meri ke ai le.
 洗う-SIM 終わる-ANT 白 なかなか 可 良い 了
 洗い終わったら、すごく白いよ。とても良い！
 洗完了，可白了。可好了！
- (5) hai efun hai ta-ji teli-uyi e.
 还 パン 还 それ-INS 蒸す-IMPRS.NPST PTCL
 それで饅頭も蒸す。
 还用那个蒸馒头。
- (6) ti nage xuluptu tui muke ne-m odi-re,
 その 那个 灰 そのように 水 する-SIM 終わる-ANT
 ti muke-ji efun teli-uyi e.
 その 水-INS パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL
 その灰、水でやってから、水で饅頭を蒸す。
 那个灰，用水整完了以后，用那个水蒸馒头。
- (7) ai, jefu-m ai e.
 良い 食べる-SIM 良い PTCL
 とてもおいしい！
 好吃！
- (8) (L:mo jigji-uyi e.)
 薪 燃やす-IMPRS.NPST PTCL
 (薪を燃やす。)
 (烧柴火。)
- (9) mo jigji-uyi e, mo jigji-S da-ki-ni
 薪 燃やす-IMPRS.NPST PTCL 薪 燃やす-NEG.NPST なる-COND-3SG

¹¹ xulupte, xuluptu との揺れが見られる。

ya-le xulupte-we gaji-uyi e.

どこ-ALL 灰-ACC 持ってくる-IMPRS.NPST PTCL

薪を燃やすよ。薪を燃やさなかったら、どこから灰を手に入れるか。

烧柴火。不烧柴火的话，上哪儿去弄灰去。

- (10) mo mo tayu-m odi-re, odipto-re=ken,
薪 薪 燃える-SIM 終わる-ANT 終わる-ANT=CLT

ti xulupte-ji muke-ji ne-uyi e, ockoli muke,
その 灰-INS 水-INS する-IMPRS.NPST PTCL 熱い 水

xuyu-m odi-re, ti waile-ji ai-ji tergele silki-uyi,
煮る-SIM 終わる-ANT その もの-INS 良い-INS 服 洗う-IMPRS.NPST

efun-we teli-uyi e, ta-du, ti waile emeti jian
パン-ACC 蒸す-IMPRS.NPST PTCL そこ-DAT その もの まるで 碱

esi xesu-uyi ba jiushi mianjian.

今 言う-IMPRS.NPST 吧 就是 面碱

薪が燃え終わって、その後、その灰水でやる。お湯を沸かして、その水できれいに服を洗ったり、饅頭を蒸したりする。あれはまるで重曹みたい。今で言う重曹ね。

柴火着完了，完了以后，用那个灰水整。热水烧了，用那水好好儿洗衣服，蒸馒头。那玩意就像碱，现在说吧就是面碱。

- (11) jiu ti waile-ji, efun teli-uyi e,
就 その もの-INS パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL

malxon da-ki-si=de suyan efun,
たくさん なる-COND-2SG=CLT 黄色 パン

ti ei waile nete¹²-ki
その この もの 置く-COND

malxon nete-ki=de suyan, kusun-ki.
たくさん 置く-COND=CLT 黄色 力-PROP

それで饅頭を蒸す。たくさん入れると饅頭が黄色くなる。これを入れすぎると黄色くなる。とても力強い（アルカリ性が強い）。

用那玩意蒸馒头。用多了就成黄馒头，这玩意搁多了就黄，有劲。

- (12) (L:ti xulupte-n nodo-uyi a?)
その 灰-3SG 捨てる-IMPRS.NPST Q

灰は捨てるの？

小灰扔了啊？

- (13) a? xulupte-n nede-uSen.
INTJ 灰-3SG 置く-IMPRS.NEG.NPST

うん？灰は入れない。

¹² nede-（「置く」）の子音 d は接辞-ki、-xe などの前では、無声化し、nete-となる。ここでは、実際の発音に忠実な表記にする。

啊？不放灰。

- (14) /ta/ tua-we tayi-m odi-re, xulupte-n ne-ki-ni bushi a,
そこ 火-ACC 燃やす-SIM 終わる-ANT 灰-3SG する-COND-3SG 不是啊
yuke dulan nede-uyi e, xulupte-we.
鍋 中 置く-IMPRS.NPST PTCL 灰-ACC
火を燃やし終わると、灰ができるじゃない？その灰を鍋に入れる。
火烧完了，有灰不是啊？把灰放锅里。

- (15) xulupte muke dulan-ni nede-m odi-re, uci-uyi e.
灰 水 中-3SG 置く-SIM 終わる-ANT かき混ぜる-IMPRS.NPST PTCL
灰を水に入れてかき混ぜる。
把灰放水里，然后搅和。

- (16) huolong uci-ure,
和弄 かき混ぜる-IMPRS.FIN
sokoj-ji tui uci-uyi e
しゃもじ-INS そのように かき混ぜる-IMPRS.NPST PTCL
かき混ぜる。しゃもじでそうやってかき混ぜる。
和弄，用饭勺子那么和弄。

- (17) (L:muke=de nede-uyi e.)
水=CLT 置く-IMPRS.NPST PTCL
水も入れるんですね？
水也放呗？

- (18) muke nede-uyi e, muke nede-Sci,
水 置く-IMPRS.NPST PTCL 水 置く-NEG.PST
imjaka ne-yi-si e?
何か する-PTCP.NPST-2SG PTCL
水入れるよ。水入れなかったら何でやる？
放水，不放水的话，搁啥整啊。

- (19) muke-ji xuyu-uyi e, ne-m odi-re,
水-INS 煮る-IMPRS.NPST PTCL する-SIM 終わる-ANT
ai-ji~ ta-du tunku-Se-n.
良い-INS そこ-DAT 動く-NEG.NPST-3SG
お湯で煮るの。お湯でやってから、そこにそーっと置いておく。
用水煮，整好了以后，好好地放那儿不动。

- (20) xuluptu xergi-ji xergi-ji ne-xe-ni, muke xolon-du-ni bi-ren.
灰 下-INS 下-INS する-PTCP.PST-3SG 水 上-DAT-3SG ある-IND.3
灰は下に（沈んで）、水は上に（残る）。
灰就到下面了（沉淀了），水就在上面。

- (21) erke~ ei muke-we gaji-rgi-uyi e,
ゆっくり この 水-ACC 持つてくる-REPET-IMPRS.NPST PTCL

- ta-we ai-ji nede-rgi-uyi e.
 そこ-ACC 良い-INS 置く-REPET-IMPRS.NPST PTCL
 ゆっくりこの水を掬い出して、きちんと置いておく。
 慢慢地把这水拿出来，好好放着。
- (22) efun teli-uyi e, odi-xo-n da-ki-ni
 パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL 終わる-PTCP.PST-3SG なる-COND-3SG
 tergele hai silki-uyi e, Saku ei waile-ji.
 服 还 洗う-IMPRS.NPST PTCL 皆 この もの-INS
 饅頭を蒸したり、服を洗濯したりする。これを使う。
 蒸完馒头，还可以洗衣服，就用这玩意。
- (23) (L:xulupte-n a?)
 灰-3SG Q
 灰ですか？
 小灰啊？
- (24) xulupte-n nage muke-ni, (L:a, muke-ni,)
 灰-3SG 那个 水-3SG INTJ 水-3SG
 a, xulupte-ni nodo-uyi e.
 INTJ 灰-3SG 捨てる-IMPRS.NPST PTCL
 灰の水。(L:そうか、水か。) うん、灰は捨てちゃう。
 小灰の水。(L:啊，水啊。) 啊，灰扔了。
- (25) xulupte muke bushi xuyu-m odi-re,
 灰 水 不是 煮る-SIM 終わる-ANT
 ai muke nede-rgi-uyi e.
 良い 水 置く-REPET-IMPRS.NPST PTCL
 灰の水が茹で終わるじゃない？ 良い水（上層の澄んでいる水）を置いておく。
 灰水不是煮完了吗，把那好水放着。
- (26) ai muke nede-re=de efun teli-uyi e.
 良い 水 置く-ANT=CLT パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL
 良い水（上層の澄んでいる水）を取っておいて、饅頭を蒸す。
 好水放起来，蒸馒头。
- (27) /esi/ tergele=de silki-uyi e, ti waile-ji.
 FIL¹³ 服=CLT 洗う-IMPRS.NPST PTCL その もの-INS
 （余った水を）使って洗濯する。それを使う。
 （剩下的水）用那个洗衣服。用那玩意。
- (28) eji malxoŋ nede-re, malxoŋ nete-ki-si,
 PROH たくさん 置く-PROH たくさん 置く-COND-2SG

¹³ esi「今」は言い間違いである。今はもう灰の水を使って洗濯する人はいない。

suyan, efun=de suyuan da-ren, kusun-ni mange ti waile,
 黄色 パン=CLT 黄色 なる-IND.3 力-3SG すごい その もの
 ye kusun-ki.
 也 力-PROP

あまり多く入れないで。多く入れたら、饅頭が黄色くなる。あれは力強い（アルカリ性が強い）。

别放太多了。放太多了的话，黄，馒头变黄。那玩意有劲啊。

(29) (L:xuyu-re shi zhu a? hu a?)

煮る-ANT

xuyure って煮るという意味よね？

xuyure 是煮啊？曄啊？

(30) jiu gao guoli shao ta, bushi zhu shaokai ta huolong ta,
 uci-uyi bushi a.

かき混ぜる-IMPRS.NPST 不是啊

鍋で茹でる。煮るんじゃないくて、お湯を沸かして、かき混ぜる。かき混ぜるじゃない？
 就搁锅里烧它。不是煮，烧开它和弄它，和弄不是啊。

(31) muke dulan-ni nede-re, xuyu-uyi e.
 水 中-3SG 置く-ANT 煮る-IMPRS.NPST PTCL

（灰を）水に入れて、茹でる。

放到水里头煮。

(32) xuyu-m odi-re, ai muke-ji gaji-rgi-uyi e,
 煮る-SIM 終わる-ANT 良い 水-INS 持つてくる-REPET-IMPRS.NPST PTCL
 ti erke~ nede-rgi-uyi e,
 その ゆっくり 置く-REPET-IMPRS.NPST PTCL
 ai muke-ji efun teli-uyi e,
 良い 水-INS パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL
 exele muke-ji-ni tergele silki-uyi.
 悪い 水-INS-3SG 服 洗う-IMPRS.NPST

茹でてから、良い水を掬い出して、そーっと置いておく。良い水で饅頭を蒸す。悪い（淀んでいる）水で服を洗う。

煮完了以后，好好把水拿出来，轻轻地放着。用好水（清水）蒸馒头，用不好的水（浑水）洗衣服。

(33) (L:genjin...) genjin. ai muke efun teli-uyi e,
 澄んでいる 澄んでいる 良い 水 パン 蒸す-IMPRS.NPST PTCL
 exele da-ki-ni jiu tergele silki-uyi e.
 悪い なる-COND-3SG 就 服 洗う-IMPRS.NPST PTCL

すごく澄んでいるよ。良い水は饅頭を蒸す。悪い水は服を洗う。

可清了。好水就蒸馒头。坏水就洗衣服。

- (34) niungi. eiya ai e, liuhuar liuhuar de.
 つるつるしている INTJ 良い PTCL 溜滑儿溜滑儿地
 つるつる。それはそれは、とても良い。つるつる。
 滑滑地。哎呀，可好了。溜滑儿溜滑儿地。

謝辞 長年調査に協力してくださった尤文蘭氏及びその家族に深く感謝申し上げます。日本語を校閲してくださった方及び根気よく、丁寧にテキストをチェックしてくださった2名の査読者にも御礼申し上げます。

略号一覧

-: suffix boundary 接辞境界	INS: instrumental 具格
=: clitic boundary 接語境界	INTJ: interjection 間投詞
1, 2, 3: first/second/third person 人称	NEG: negative 否定
ACC: accusative 対格	NPST: non-past 非過去
ALL: allative 向格	PROH: prohibitive 禁止
ANT: anterior 先行	PROP: proprietive 恒常的所有
CLT: clitic 接語	PST: past 過去
COND: conditional 条件	PTCL: particle 小詞
DAT: dative 与格	PTCP: participle 形動詞 (分詞)
FIL: filler 言いよどみのフィラー	Q: interrogative marker 疑問
FIN: finite verb 定動詞	REPET: repetitive 反復・反動
IMPRS: impersonal 非人称	SG: singular 単数
IND: indicative 直説法	SIM: simultaneous 同時

参考文献

- 李林静(2014)「ホジェン語の動詞屈折形式とその統語機能」『北方言語研究』4: 111-126, 北海道大学大学院文学研究科。
 ——(2015)「ホジェン語の語りテキスト(1)ー尤文蘭氏口述 私の生い立ちー」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』17: 203-220, 千葉大学ユーラシア言語文化論講座。
 ——(2022)「中国ゼロコロナ政策下における海外研修及びフィールドワーク」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』24: 125-176, 千葉大学ユーラシア言語文化論講座。
 ——(2024)「ヘジェン語テキスト(22)ー尤文蘭氏による語り 黄疸の治療法ー」『北方言語研究』14: 287-312, 日本北方言語学会。
 李林静・山越康裕・児倉徳和(編著)(2018)『中国北方危機言語のドキュメンテーション』東京: 三元社。

Hezhen Text (24):

Natural Discourse by Ms. Wenlan YOU — “Washing with Wood Ash Water”

Linjing Li
(Seikei University)

Hezhen is a Tungusic language spoken by the Hezhen living in Heilongjiang Province in China. The Hezhen population is currently reported to be 5,373. There is only one fluent native speaker.

This paper presents the glossed transcription with Japanese and Chinese translation of a natural discourse recorded from Ms. Wenlan YOU, at Tongjiang city in Heilongjiang Province, China on September 2, 2022. Ms. Wenlan YOU was born in 1946 (village Qindeli).

Ms. Wenlan YOU recalled a time when she couldn't afford soap and used wood ash water for laundry. She also frequently used this ash water to ferment wheat flour.

(り・りんせい lilingjing@law.seikei.ac.jp)